

育英奨学資金（寄附金）募集のお知らせ

公益財団法人 岩手育英奨学会

当岩手育英奨学会は、岩手県に住所を有する方の子女で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等の修学が困難な者に対し、学資として育英奨学金を貸与し、社会有用の人材育成に寄与することを目的に昭和42年に創立されました。

創立以来59年目となりますが、タイプA、タイプB及びタイプCに、令和5年度に創設したタイプDを加え、4事業を実施しているところです。

東日本大震災津波被災から15年が経過していますが、本県の経済は依然として厳しい状況にあり、奨学金貸与事業へのニーズは高く、当会の安定的な運営が求められています。このような状況の中においても教育関係者、民間篤志家の皆様からの尊い寄附金、御理解、御協力を得て当育英奨学会は円滑に運営ができておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年度（令和7年度）は、209名の高等学校等在学生在が奨学生として貸与を受け学業に励んでおりますが、進学等による返還猶予者を含め2,286名の奨学生が未だ返還中です。

在学奨学生数は、前年度と比較し減少していますが、授業料無償化の対象拡大や少子化等による貸与者数が減少したことなどによるものです。一方、本会の奨学金は、所得額の上限を設けて貸与しており、経済的理由により修学が困難な家庭に優先的に貸与していることなどから、返還期間内に完済できない奨学生も多数に上っている状況となっています。

こうした状況の中、本会では、令和5年度に大学等に進学する意欲のある学生を支援する新たな奨学金タイプDを創設し貸与を開始したところであり、奨学金貸与事業の一層の充実に努めております。

本会の奨学資金は、県出資金や一般の方々からの寄附金等を基にした基本財産の利息収入及び奨学金の返還金収入等で賄っていますが、継続的かつ安定的に事業を推進するためには、一層の資金造成が必要となっております。

つきましては、趣旨を御理解のうえ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

※ 寄附の状況は、「寄附金状況等」のページをご参照ください。

育英奨学資金募集要項

公益財団法人 岩手育英奨学会

1 募集時期

随時

2 寄附金の使途

寄附金は、別紙様式「寄附金申込書（兼意向確認書）」に記載された寄附者の意向に基づき、奨学基金又は運営費として運用します。

3 申し込み方法

寄附金を申し込みする場合は、「寄附金申込書（兼意向確認書）」に氏名、寄附金額及び寄附意向をご記入のうえ、公益財団法人岩手育英奨学会あてお送り願います。

所在地 〒020-8570

盛岡市内丸10-1

岩手県教育委員会事務局教育企画室内

公益財団法人岩手育英奨学会（担当：高橋）

電話：019-623-2050

FAX：019-623-2050

HP：<http://www.iwate21.net/ikuei-syoutaku/>

4 寄附採納手続

別添「振込依頼書」により、岩手銀行本支店からお振込み願います。

なお、振込依頼書による場合の振込手数料は、無料です。

振込依頼書の送付を希望する場合は、当会にご連絡ください。

5 税法上の寄附金控除について

本会は、所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に掲げる「特定公益増進法人」に該当しますので、税法上の寄附金控除が受けられます。

6 証明書について

お振込みいただいた寄附金については、寄附金控除を受けるための証明書等をお送りします。

別紙様式

令和 年 月 日

公益財団法人岩手育英奨学会

会長 遠 藤 洋 一 様

〒 ー

住 所

電 話

氏 名

印

寄附金申込書（兼意向確認書）

下記のとおり寄附します。

記

1 寄附をする金額 _____円

2 寄附の目的

公益財団法人岩手育英奨学会における定款第4条に基づく奨学金事業（学資の貸与等）に充てるため

3 寄附金の使途に係る意向確認

寄附金を寄付してくださる方の意向に沿って受け入れしますので、該当する次の番号の①から③の該当するものに○印を付け、空欄に数字をご記入ください。

① 奨学金貸与金に全額指定して寄附します。

② 全額使途を指定しないで寄附します。

③ 奨学金貸与金に（ ）円、管理費に（ ）円を指定し、
使途を指定しない額（ ）円を寄附します。

4 寄附者氏名の公表

寄附金は当会ホームページに掲載しております。氏名の公表について同意しますか。

① 同意します。

② 同意しない。